

令和元年度 自己評価結果に対する学校関係者評価

学校名	北海道月形高等学校	外部評価委員会 (学校評議員会)
-----	-----------	---------------------

1 学校教育目標(めざす生徒像)

重点目標(めざす学校像)

月形町から世界を見据え、 自らの意思で行動し、 自他共に思いやりの心をもつ生徒	1 月形町・北海道の担い手となる生徒の育成 2 共生を意識した生徒一人一人の生きる力の育成 と多様な進路実現ができる学校
---	--

2 本年度の経営方針

<p>生徒の個性を尊重し、一人一人が安心して活躍でき、地域から選ばれ、信頼される学校作りの推進</p> <p>(1) 月形町を知り、空知を知り、北海道を知ること、地域社会に貢献できる生徒の育成に努める</p> <p>(2) 卒業後の個に応じた社会自立と健康な身体と他者を思いやる心を持つ生徒の育成に努める</p> <p>(3) 自らを磨き、学び、挑戦する積極的な姿勢の育成に努める</p> <p>(4) 教職員が心を豊かに生徒に係わり、協働意識と自らが学校を動かしている意識を持つことに努める</p>
--

3

自己評価結果に対する外部評価(A:十分 B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分)

評価平均・・・A:4、B:3、C:2、D:1として平均値を算出

評 価・・・評価平均について、A:3.25以上、B:2.50～3.24、C:1.75～2.49、D:1.74以下(小数第3位四捨五入)

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	①地域の期待に応える資質能力を育成する教育課程・授業計画を編成し実施されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を効果的な取り組みにするため、年度当初に、全教職員と全校生徒にその意義と取り組み方法について周知を図り、引き続き、全体での取り組みを行う。 ・新学習指導要領導入に向けて、教育課程の編成は生徒の実態や当面する課題への対応、地域の期待等を考慮して次年度も年度当初より積極的に見直しを行い、適切に進める。 ・毎日の授業にしっかりと参加するということから家庭学習を行うきっかけになっていくのではと考える。一層の効果を計るため、新たに個に応じた課題内容を取り入れ指導の充実に努める。 ・教員数減少により限界はあるが、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の向上を図る。 ・特別支援教育について、理解や研修を深め各学年・教科指導等組織的に対応出来る体制作りに努める。 ・「総合的な探究の時間」導入に向け内容精選や取組みの深化等を検討し充実させる。 	A	A
	②年間学習指導は計画と実施のズレがチェックされているか。	B			
	③学習指導の改善のためシラバスの見直しが適切におこなわれているか。	B			
	④生徒の実態を考慮し、基礎・基本が確実に身につくよう適切な指導を行っているか。	B			
	⑤わかりやすい授業となるよう、授業内容が工夫されているか。	B			
	⑥授業規律の確立が図られているか。	B			
	⑦個々の生徒の学習状態を把握して、適切に評価しているか。	B			
	⑧総合的な学習の時間は、三年間を見通した内容になっているか。	B			
	⑨朝読書や家庭学習の充実により基礎学力の向上が図られているか。	B			
生徒指導	①生徒の状況についての情報が共有され組織として適切な指導支援を行うことができているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解を図るため、年度当初に指導体制、指導計画の明確化を図った。指導状況等に不十分なところがあったため、分掌・学年の連携を密にし、情報共有を図り、指導の充実に務める。 ・生徒理解研修会を計画的に実施し、生徒個々の状況等について共有化を図り、生徒の特性等に応じた指導の充実に努める。教育相談・特別支援の研修の充実に努め、実態や状況に応じた適切な指導を実施する。 ・生徒会執行部のリーダーシップ育成のために、教育局や町教育委員会主催のリーダー研修会に積極的に参加させる。 ・教育相談体制について、生徒が相談しやすいよう、各学年に担当を置き組織的に対応する。また、新入生については今年度効果的であったスクールカウンセラーによる全員面談を年度当初に実施する ・学年・サポート委員会やSSW等外部組織と連携し、様々な事情をかかえた生徒への効果的な指導を行う。 ・効果的な自主的な活動について検討・実施に務める。 	A	A
	②地域の関係機関と連携できているか。	B			
	③教育相談や個人面接の機会を積極的に設けているか。	B			
	④基本的な生活習慣や集団生活の決まりが身につくよう、きめ細かな指導ができているか。	B			
	⑤いじめや非行、問題行動の早期発見と、その予防対策が日常生活の中で行われているか。	B			
	⑥学校行事は、生徒が自発的に活動できるよう工夫されているか。	B			
	⑦ホームルーム指導計画は、教科指導や他の特別活動との関連を考慮した指導計画であるか。	B			
	⑧部活動に対し、生徒が主体的に参加できるよう指導されているか。	B			
	⑨生徒会活動が、生徒の自主的活動となるよう、全教職員の協力体制ができているか。	B			
	⑩サポート委員会は効果的に機能されているか。	B			
	⑪ボランティア等地域の活動に積極的に参加しているか。	B			

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
進路指導	①進路希望の内容が、生徒自らの進路希望を実現させる内容となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で取組んだ内容や資料をサーバー内のフォルダにまとめて使いやすくする。また、「進路のしおり」の有効活用を工夫する。 進路指導部通信を発行し、進路情報提供に努めた。今後とも情報提供を充実させ、個々の進路実現に尽力する。 本校のキャリア教育について、進路指導部の課題として、今後3年間を見通した具体的な方針や取り組みについて充実させる。 進学指導の充実に向けて、講習を計画的に行うことができた。講習等の一層の効率化について検討する。 	A	A
	②進路指導計画が、ホームルームはもちろん授業の指導の中で具現化されているか。	B			
	③生徒や保護者との話し合いを密にし、進路決定のための相談活動が適切に行われているか。	B			
	④講習や模擬試験の指導など希望実現への援助活動はなされているか。	B			
	⑤望ましい勤労観や職業観を育て、自己理解を促す指導は適切に行われているか。	B			
	⑥外部機関とのネットワークを広げ、相互の情報の共有が適切に行われているか。	B			
健康安全指導	①交通安全をはじめ、安全意識を高める指導は行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は、火災に係る訓練1回、地震に係る訓練を2回実施したが更なる内容の改善を図る。 福祉講話を実施し福祉についての理解を深め、互助意識の高揚に努めたい。 関係機関と連携し、防犯・安全意識の高揚を図る。 実態に即した防火防災計画となるよう防火防災計画の見直しを図り改善に努める。さらに校内研修等実施を通して周知を図り、危機管理体制を充実させる。 養護教諭が中心となり生徒全員が取り組んだ健康目標は、生徒の健康意識の高揚に大変有効であることから、更なる内容の改善を図る。また、教員、生徒とも減少する中で清掃区域の効率的な分担を模索する。 	A	A
	②安全確保のための環境整備や点検、訓練は適切に行われているか。	B			
	③防災関係の規程や非常事態発生時の対処要領が、職員や生徒に周知されているか。	B			
	④危機に対する管理体制が充分なされているか。	B			
	⑤健康安全に対する計画的・継続的な指導はなされているか。	B			
	⑥校舎内外の清掃・美化活動は計画的に行われているか。	B			
	⑦生徒の環境美化に対する意識を高める指導は行われているか。	B			
組織運営	①教育活動全般において、教育目標の具現化が図られているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員室内のコミュニケーションを活発に行い情報の共有化を図ると共に協働意識の醸成に努める。 業務の見直しや改善についての意見交換を積極的に行い協働体制の確立に努める。 保護者アンケートと教職員の自己評価の評価結果を検証し、組織運営の充実に努める。 全教職員が学校内で起こる事象に対し当事者意識を持ち、協働体制のもと、機動的な学校運営を図ることが必要である。 	A	A
	②生徒や保護者に対して、教育目標等の周知を図っているか。	B			
	③組織の協力体制が整い、機動的かつ効率的に学校運営がなされているか。	B			
	④教職員が学校運営に対して、積極的に参画できているか。	B			
	⑤教職員相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場のムードづくりができていますか。	B			
	⑥教職員の健康管理や福利厚生に対して、配慮されているか。	B			
	⑦職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が活かされているか。	B			
	⑧法令遵守と服務規律が守られ、説明責任がなされているか。	B			
研修	①校内研修会の時期、実施内容は適切であるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修会を年間計画に位置づけ、効果的に実施することができた。生徒理解や授業改善に向け、学校内外の研修を更に充実させる。 校外研修の成果は、研修報告や資料回覧等を通して相互に成果の共有を図る。 	A	A
	②各種研修・研究会へは積極的に参加し、生徒に還元されているか。	B			
	③授業研究を通して授業改善を行い、授業力及び専門性は向上されているか。	B			
保護者、地域住民等との連携	①家庭訪問の実施等、家庭・保護者との連携協力はできているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連絡が取れず苦慮することがあった。今後も粘り強く保護者に連携協力を依頼する。 町内小中学校の授業参観へは昨年より多くの教員が参加できた。さらに積極的連携をしていく体制構築に努める。 より一層地域との連携を深め、ボランティア活動や諸行事に積極的な参加を促す。 	A	A
	②PTA行事の充実や研修会等、PTA活動は活発であるか。	B			
	③小中学校や地域の関係機関との連絡・連携はなされているか。	B			
	④授業公開日の実施時期や公開内容は工夫されているか。	B			
	⑤地域へのボランティア活動等の参加はなされたか。	B			
働き方改革	①定時退勤日等における勤務時間は概ね適切であったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革実現に向け、業務の効率化・平準化を行い勤務時間縮減に向けた取組を活発化させる。 	A	A
	②部活動方針は概ね適切に実施されているか。	B			
	③学校閉庁日の趣旨は概ね理解され、実施されているか。	B			
施設・設備	①施設・設備の維持管理、教育活動に適した整備及び補充がなされているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも教育環境の整備に努める。 	A	A